

2012年04月27日

【新規格付】**西日本高速道路****第14回社債：(一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構重畠的債務引受条項付)：AA+**

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

高速道路を建設するための資金調達を目的に発行する社債に対する長期個別債務格付。日本高速道路保有・債務返済機構に高速道路資産が帰属する際に、原則として弁済期日到来順に機構により重畠的に債務引受される。機構が債務を引き受けるスキームの確実性が高いうえ、仮に道路建設に支障を来す事態が起きても、当該社債は機構によって保護される可能性が極めて高いため、債務引受前であっても機構と同格にしている。

発行体である西日本高速道路は名神高速道路、中国自動車道、九州自動車道などの路線網の管理・運営や東九州自動車道の建設などを実施している。機構と高速道路会社は一体となって日本の高速道路システムを支えており、高速道路会社の高速道路事業の信用力は機構と同等の水準にある。

2012年4月に機構との協定を変更、高松自動車道などの4車線化を実施する。また、協定上はすでに織り込まれていたものの「当面、着工しない区間」とされていた新名神高速道路の大津一城陽間、八幡一高槻間の着工も決まった。4車線化等で追加された事業費分、機構が承継する道路資産と債務が増加する。

新協定では、機構の調達金利が上限の4.0%に到達する時期を従来の2014年度から2021年度に先送りにした。金利負担が軽減される分が、追加された債務の返済に充当される計算だ。

さらに国土交通省は本州四国連絡高速道路の料金を引き下げる方針を打ち出しており、他の高速道路の料金収入を利用することなどを検討するとみられる。これらの高速道路事業の見直しは、機構を中心とした高速道路債務返済の余裕度の低下につながりかねず、今後の動向に注視していく。

関連事業としてはSA・PA事業、駐車場事業、トラックターミナル事業、受託事業、占用施設活用事業、一般自動車道事業などを手掛ける。多様な関連事業を手掛けているが、関連事業は自己資金の範囲内で行われており、投資姿勢は慎重。今後もこうした財務戦略を探る方針である点は評価できる。ただ、他の高速道路会社が関連事業で大きなリスクを抱えた場合、債務の性格から判断して、西日本高速道路の信用力も影響を受ける可能性がある。特に海外事業はリスクが大きいため、他の高速道路会社と共に設立した日本高速道路インターナショナルの動向も注視していく。

■お問合せ先
■報道関係のお問合せ先

：インベスターーズ・サービス本部
：経営企画室（広報担当）

TEL. 03-3276-3511
TEL. 03-3276-3438

E-mail infodept@r-i.co.jp

株式会社 **格付投資情報センター** 〒103-0027 東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目ビルディング <http://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したもので、なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html>をご覧下さい。

©Rating and Investment Information, Inc.

NEWS RELEASE

【格付対象】**発行者：西日本高速道路**

名称	第14回社債（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構重畠的債務引受条項付）
発行額	250億円
発行日	2012年05月08日
償還日	2015年03月20日
表面利率	0.277%
格付	AA+（新規）
担保・保証	一般担保
備考	債務引受の予定先 独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構

■お問合せ先**■報道関係のお問合せ先**

：インベスターーズ・サービス本部

：経営企画室（広報担当）

TEL. 03-3276-3511

TEL. 03-3276-3438

E-mail infodept@r-i.co.jp

株式会社 格付投資情報センター 〒103-0027東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目ビルディング <http://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したもので、なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html>をご覧下さい。

©Rating and Investment Information, Inc.

NEWS RELEASE

信用格付に関する事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	吉田 真
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	神林 尚

信用格付を付与した日	2012年04月27日
主要な格付方法	政府系機関等の格付の考え方 [2011. 07. 27]

上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/methodology/index.html>

評価の前提是、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/ratingpolicy/index.html>

格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/definition/index.html>

格付関係者	西日本高速道路 日本高速道路保有・債務返済機構
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	

利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、個別債務に関する情報 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。
情報提供者	格付関係者

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。